と、羅邦、雄基清津は北西、羅邦、羅建岡に破立で敷料

世しめ之を磁守せしめるために 地しめ之を磁守せしめるために では国る歌政所は鏡音中公所 のでは国る歌政所は鏡音中公所 のでは国る歌政所は鏡音中公所 のでは国る歌政所は鏡音中公所 のでは国る歌政所は鏡音

の憲立によつて十八日午期に持ちした上午後来數奏政館を聡明別看起されてゐたが錯局競別外總がの、決談を討談これを可決午後の本館越されてゐたが錯局競別外總がの、決談を討談これを可決午後の本館越ざれてゐたが錯局競別外總がの、決談を討談これを可決午後の本館越が近難が近難が見います。

政派の應度決定は前市、臨村能遇、総は代極土曹を聞いて策喩を決定【東京市語】米製岳家に関する民」これに贈するとを関かにすれば南

衆院を通過せん

民政黨の態度決定

上の記しての銀道新線を敷上の部を貫通すの銀道新線を敷

から敗革する必要ありと思示が、 陸遠跳航するのか から敗革する必要ありと思示が、 ほっ次千五百トンの連絡胎は何から散薬領離職道が関除解線 | 校川氏 日下鐵道省で作つて

時頃既航するのか

**今井田總監と吉田局長答辯** 

小衆議院委員會

朝鮮の中央部を貫通するもので 今井田 總監 今回の鐵道は

程すること、なつてゐたがいよい、性質上読も効果的な月を選んで上 る決能総の上程については同窓の 窓になる場所奉戴國政一新に闘す

別車を出す確確をしてをる

| 「東京電話|| 大小の二十一日の本館証拠四第 | 「東京電話|| 内称省整保局では、一動の脈に一部不設置側に関している。 | 「東京電話|| 「東京電話|| 「東京電話|| 大小の「大小の「大小の「大小の」」」。 「東京電話 | 大小の「大小の」」 「東京電話 | 大小の「大小の」」 「東京電話 | 大小の「大小の」」 「東京電話 | 大小の「大小の」」 「東京電話 | 大小の「大小の」 | 「東京電話 | 「東京 | 「東京電話 | 「東京 | 「

助は政府の諸過隔に動する虚置曲るために毀骸を職ととなし既行助は政府の諸過隔に動する虚置曲るために毀骸を職ぎされば戦闘治

カルマンで、 カードはここので 物のず従来交通の便に思まれて 語線は産業の重要部分であるに

日朝鮮軍司令部より次のとほり観衷された

第十九肺臓が代秋九月中世ごろ驟行する北壁防空崩雹について

■ 京京○ 京京</li 大河內輝耕子(研究)

の經過に微して大陸解解せられてないと云ふが解り急激な變革をすると云ふが解り急激な變革を

廣田首相 大幅でもであ

## める國境空の護 九師團が今秋九月中旬を期し

北鮮、間島に防空演習 朝鮮軍司令部後表 第十九節團は今秋九月

軍部の演習、軍部と地方側との監問の演習およびその他

「東部と地方側との協力の演習(1)的卒店源成北宣全域(2)類次(十七日二川に課意した宇田発育は、中心は離離地區とす。 「東部と地方側との協力の演習(1)的卒店源成北宣全域(2)類次(十七日二川に課意した宇田発育し、中心は離離地區とす **選問書とまずにおいて軍部自搬これを行ふ、しかしてその中職場、陽興、離城、離城、會原、富原、織城の主都加地域左の如し** 

(1) では、これがより戦紀下に實施せらる、を以て地方参加勝盟邦は旅部は原都は最初より戦紀下に實施せらる、を以て地方参加勝盟邦

大連絡船

宇垣總督

振りを熱心に観察、激励の節を與 八日初仁川から島龍南で水脱に。大河内子・藤和は財政の見選

政的原因

十七日開盟 | 柳龍車所 大河内子 コマニ ついこ 次 一 人間をやらにして行からと思ふ 定数と認むべきものにはなるべ

聯盟通告接受

き協議を進めることになったが

もので臓獣の軟脚を辛原に攻闘し腹斑をあげてゐるが極めて殭硬な 船を航温したグワテマラ政府の通 熊を娑髪した。 通告文にはゲリテ 想哉アブノール氏は上七日午前職 マラ政府は脱退罪由として財政的 白経路関胎に

の支配をなす萩原年景にござりま

、うちから、年景は、荒れ泉でた。 な酢をばつと見ひらいて、と、まだ非の馨もすがたも見な た。 何か心にかなふ時にする大き

親鸞は 初めて 大き くうなづい

ので、いよく「近く機廠要建館の」、「自衆し既に国際総に選附された」、「自衆し既に国際総に選附された」、「人・十六日衆議総を駆倒的多数を以、「人・等力を紹けて來たが、後漢案」 性編成し、議館機能を一層態作す 協関振動委員所を 政界の郊化、選舉商工長び香紙 、 右に腐奪して設置制度の基礎 、 近空間度に適等規則の基礎 、 近空間では適等を対して、 近空間では一次である。 でたす数数の信用を修覧し、 政 がに目 都自定国家本立立設定 本立 でに目 都自定国家本立立設定 本立 でに目 都自定国家本立立設定 本立 でに目 都自定国家本立立設定 本立

命の今後は組富畑符をかけられて 学)支部設立伝導の属め十八日社際大助氏(帝國重事階及意理 第四十旅源長 十八日大邱

丸に暴風警報

手元に関一統合化せられる。こ 化は、極東に對する認識不足か

らだといふ、さらいふ角度から「浅る腸の光りを見て、幽然と、そ「あごました。わが子たちへも、多

銀を鑑成せんとしてゐる。
「風光を買ひ、之等少壯遊は「認識不足」問題にない意味に共鳴し、同じく反政府的な空職しても小意味に共鳴し、同じく反政府的な空職とても小意味に共鳴し、同じく反政府的な空間となる。 第二に ・第三に ・第三に ・一部に変形が寛事情感 ・一部に変形が寛事情感 ・一部に変形が寛事情感 **溝渠が深刻化するか(3)寺内陸て反映するか(2)政府、政黨の當大衆的な輿論乂は行動となつ** 想されるが、既中第三の即ち軍部が陸相難任を 相の辭任問題が起るか三つの事が象

六ー七月の航路波高し警戒すべし いた三つの低氣壓

る三つの廐を作るに至つた る三つの廐を作るに至つた ス・デー は 情報を可以のと思えな一 の失言で同居問題及が一 の失言で同居問題及が一 の失言で同居問題及が一 の失言で同居問題及が一 の大言で同居問題及が一

関をスタートしたが豊畑の経過と共に有力な 東京南部「西部古殿中国の西部に対域」に東京東

> 貴族院豫算總會 ム首相の令

段を高へられぬ はエチオピア容像に暮々たる武師 一ノ昭君郎に豊郷恵原相チャノニ首組の令息ダイツトリオ・ブ ローマ十七日同盟』よッソロ

TI.

(126)

質羅發表

トリオ流行里に出班へ合息に

越路篇

花 治

諶 作

たるのも高校に続った、耐安は高 「上人御在毛方れば、お目にかゝ」く師既共を――。年景は、あれが傷の臓腑器に続み各価能質に興じ 景は、瀬草蘭一つの組物な暴寒で、を見れば、鬼かのやらに逃げて心欲の都勝を讃へ午後一時宇城第主。いて来た婁子がない、代官院配年、親の如く悪ひ、この年景の才がた炎見れば、り丸金勝道下裏を歌烈し興に歌彦 供も進れてゐなかつた、馬も見 せう、上人のおすがたを見れば、り丸金勝道下裏を歌烈し興に歌彦 供も進れてゐなかつた、馬も見 せう、上人のおすがたを見れば、り丸金勝道下裏を歌烈し興に歌彦 は、前れが開えてゐた。 「今も、御覲せられたでござりま内海の袋鞭を皆でつゝ小社部に至 日程を終へ香川器観察に貼いた日は、観覧がたな一人取り建されて 【歯が電話】関山器下におけるが、もに逃げ散つてしまつて、縁に、なのであった。

あた。<br />
裘のはうで、その時、

身にかなふ屋の ながしての言葉

は、垣の間や製の方から、われ勝

退はつて、

お間

政法、侵刑法、經濟、民刑事亦 久宮試験は來る八月七日から京 月は幽断、作文、原新、

振薦委員會を再編成

重査察の眼

**門當嚴戒を要する事態** 

部所の破れ頃へ向つて、

てゐる靈や、聰の穴や、塵很から いて、過去を起び、この後を認ひの下へ入つたが、この繋さに腐れ に訛らひました。寒へは南手をつと、年景は身を風めたま、屋根 しました。突、山吹も仰せのやら

・離女を置いてを を解、あの火災の を解、あの火災の

「無光でござります」 こへ坚つたまい無く離る上げ得な一年の父らしからぬ行ひを語しまし

あいさつすると、年景は、はつ あもつて、召使の い選をうるほした

たいと思い出しま

進見

呈本

をりまするの側

いたくに促す金 る年より、年貢

を鋭っていたなき

ž Ž

でませんの

まだ私の心は、

お申込み下さらばすぐ お申込み下さらばすぐ

網をよっはせ、双眼からは湯のや 「はつ……」年景は、わなり 使め、この減十日 たないこの身を 歌に、何光次6 あたる さ、それが何か **美** 

2

0

ニキビや吸出動を構成して ける部様に関いまれる部様に関いまして はれる部本・ 脱に酸いまれどなを吸さず奇様に対ります。 るのもが悪の散然です れた実肌に自然化粧が 取ぶまゝに美しく仕上 がしたがれた。 新する競戦も高級です がの色素分解歌画力が の色素が解歌画力が お説し下さいませ!! 製館な使用窓を受非共産網管がと思けせる推び 二號温度 一國八十藝 注射內地十錢他四二卷 送料內地十錢他四二卷 光八 ト・化制加出 新居 小間物居文は 3

柄節時 特に て白世白汗 好粉ぬ粉は陽無パ評下絶崩ん焦しラ噴と好れてせてソケしのがもずもル - 第一人四人と京原教授 **上下**河田杉 (北京) - 計画 日本版画 (新元) - 計画 (新元) - 計 來る二十七日は海軍記念日

北町在街より学里上流の新年節句

四人の馬賊 高瀬襲撃

> その間主として獨逸最大の新聞社たるすることになった、同記者は滯獨大年 **電話として本社は、社員名取洋之助氏を派遣** 党政ドイッ自林に開催される第十一回オリンピック大震祭

ルシュタイン紙の記者と

衛樹運鞭、満水工が両路長、蟹形と

事に選手することになった、女ほ 一株定來月中旬頃回答して來る否で

現在の総構は新商族工程安東、新

この結果銀道局では直ちに架橋工

朝鮮人男子を隣殺した

現在の橋はそのまゝ人道橋

衛州間の交通数和のため人道橋と

幼稚園で授業最中

して一般の通行を許すことになる

単の運輸にが支へないやら線路を 模様であるが、特に有事の際は別 る特殊工の國

一架設する

本は將來複線可能の設備

### 山田地帯を経験して京城、釜山間一され思北と京畿の道境を横断する一帯を主に全線のトンネル器数は質 半島中部を貫く新線 班百名で測量 **丹那トンネル經験者招聘** 全線に六十の隧道を通す

線出し測量の完成に伴ひ四ヶ所か | 丁事に役車 した歌画番 | 同時に電化 に第へた高 総護局では別州戦を引きる技術者に代がトンネルの 遺属では苦心の濃塵に配を行ふと 製地別戦の第二次説護戦を即にといる技術を必要とされ、戦に総道者から の中最大のものは四キャに及び鑑 次る廿一・二回日京諸祖を実定る経験には技圏トンネル明報技術の 単上の新記録を出すことになりこ スピート・記録 | 18月 山脈中、竹橋、白葉山の南天隆の に大十本延長廿八キロといふ譲道

鴨緑江の新鐵橋は 「困難を極めるものと復想」を要求する器で、この雨温山田地一全能の施設をすることになった

い丁事を進める後定であるが丁事

彈丸列車

型機関型と連結用版用車、整体機 遊成歌に至り午後二時同襲聯省の 他単の三層編成でスピードの下試 を行ふため十九日午前八時龍山

驛手の自殺

八日午前等時五十分遊戲鏡線雲

少女を攫ひ逃走

にする哲である。 度定で雇山、成歌八十二軒の間で | 町一五二条敷成氏の景文の版(水) | (収ありを開け重視して件の頻解な | 銀行したが、勝頭は大の通り十八日年初ル解四十分傾点成立并 | 可製資内に囲作。副鑑養官内に八 | のトップを切って飼内護証大療を ん切を買った廿五六歳のなが來て さんが通りで離んであると契然家一の行方を独登中

あとで家人がそれを知り願いて本 印版さんを抱いたまく変を付した メクシー=巡ຸ爾子洪繼谷=が京城四時頃京城漢江福派出所前で漢江 はね飛ばす

2機羅麟 ◆招待 レース (同) ・○五2 一 5 ▲スカ 係 (A) 三・○五2 一 5 ▲スカ

九2京城劉郡本同固定席1京城招待ブオア11京城工場二・〇 2機距路 ♠招待

咸鏡線慘事に

回流一面関係の見込、原因は本町 四八石田建築材料店(芭蕾有上口十八日午前十時京遊黃金町二ノー 火 事 でい止め間十時四十分酸火-醫是二。四五2城大豫▲同固定

能せんとしたが消防臓、太町害、青 ル初の歌を言い統称があつたので、前につの下書から出代、コールター 华闘等電景戦らの活動によりこれ 火の題り早く同家を全域国家へ延

## 尿城に少女の行方不明續出

十八日午後三時半頃漢元橋下に京城級江にまたも漂着死権三つ 目殺らしい▲十七日午後三時頃

超滿員謝禮 ア東モスコウの 第ラの一位 信ン道夜

十日世延期上映 社成團

の男の死態が流れついたが何れの男の死態が流れついたが何れて四十二歳位の男の死態を進行は四十二歳位の男の死態を進行は四十二歳位の男の死態を担行したが何れ

素風の

アボナ チリン

-

製

脚欒の

食膳に

萬年噴霧

器

7

**請を施行中列車の選延をとり磨す「総直局その他解媒方面でその殴行・明和九年八月歳譲継清章、新北部」 計画の物金を言識され厳事整罪で** 

重く言渡さる

「め規定外のスピードで運轉・凛」を注目されてゐたが十八日午前十

川部路上で開発順登し三名明化、

時京城監察法院他田裁判長孫氏

**整째士成北班灣日本町高模奉** 

國六月二年間朝行猶豫(本刑數回 八月)の祖告された

の聖佛上過失事性は一審で七日

0

死體

七十解名の資銀者を張した銀道局、田協様立曹で開廷、裁判長かい続 院屋(東)際谷祭

全般天氣發報

忠南北(前強く 下後雪京 戦 南の風 下後雪 一種の風 雨が降った

部丁原 の風 り止んだり 破南南 北東乃 両が除つた

では本社の誇りとするところであるにはウルシユタイン社が撮影をなし得るはつルシユタイン社が撮影獨占権を所はウルシユタイン社が撮影獨占権を所禁あるオリンピツク 競技大会航空 寫眞

150 18 160

朝日海上火災保險縣-京城交部

大月前豊

整 管電社京城政 整 管電社京城政

展島縣人會觀劇會を五月十四日(日曜日)午前 一時より朝日座に於て開催致します闽希望の 方は卅二日まで大記の所、闽申込み下さい演 理は喜劇を闽麓に供し闽豊金(正話記及ビール) 取は酒サイダを呈します(會費一圓五十銭) 「四十四十四年の一日本で大記の所、闽申込み下さい演 「四十四十四年の一日本で大記の所、闽中込み下さい演 「四十四年の一日本で大記の所、闽中込み下さい演 「四十四年の一日本で大記の所、闽中込み下さい演 「四十四年の一日本で大記の所、闽中込み下さい演 「四十四年の一日本で大記の所、闽中込み下さい演 「東西本の一日本で大記書」、公司の「世界大記」の「本 第一四十四年の一日本で大記の「本 第一四十四年の一日本で大記で大記の「本 第一四十四年の一日本で大記の「本 第一四十四年の一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記の「本 第一四十四年の一日本で大記を一日本で一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大記を一日本で大日

204ピア

議3題意謂▲オワシホート (三) 化成(以下略) <sup>A</sup>廣澤虎造 滿員御禮 主催 町本四五・二七七

京游·森州二·八克 謝近火御見舞

植村外科病院

高居瀧三郎

謝近火御見舞 京城 支 社 京城 支 社 京城 宝 城 支 社 京城 宝 城 支 社

ATTU-京 劚 謝近火御日

三死體

ポカリ浮く

マヨネーズ 三、榮

謝近火御見舞 局 

謝近火御見舞

H

刊大陸

京

城社

謝近火御見舞

:18: M) 4

⋴庫

職ムゴ業輪本日 所張出城京 町 駅 城 京 で施芸<sup>本館</sup>

は胃暖をこわされ頂痛楽

る水楽

みよい

ぜのたんせきの Ent.

息のたんせきの 般たんせきの かる 
を 
国薬店に

金金金 種 - 五三 ++ 額 图 錢 錢

合 名 會 祉

市 東 丸 石製藥

**清新な報道と卓越せる寫眞** 

在獨六年ゥ紙で活躍した敏腕記者

火遊びで火事

て吹募場に潜んだ松振に燃え移つ 他二・四名がイッチで火酸びを 版因は旧家の同居人未盛秀古。 四二五崔在出さん方から越火同時

・夏ドイッ旧林に昭胤される第十一

華島根金那を輝いて観火したが

日午後一時廿分號京城福江町

取

部芸な脈院を有し、個人旅にも所派が部と昵懇の間間で編的に認められてゐる、特にウルンスタイン紙と

有すると共に「温真技術については世界

里一四三百年成二して近け締らう とするところを西大門署へ突き出

蘇縦則から交渉開始の直縁である それ見つけた

の主人と京場舞蹈近で記人を捜し された、最み性間に選した学は宿 宿人のために甘心師人の選口を監 かか十七日俊十一時頃就羅中師

合語で揃へた、この男は平爆業林 てゐる内十八日午前三時頃回歸待

十六月年後 に選択しあり、之が引進しを近く | 北流州部濱州邑本町布水南李島学 | 中地山麓の際、別龍二僧を前館内 | 長城県底町墨泉蔵館に優瑞中の忠| その後蘇聯側が後退したまい職大 せざる模様であるが蘇戦側は顕著

鐵路に消ゆ

子における猫頭電不透過器墨州は 兩訴國策五家

一名を題し、三名に資格せしめ 九名及び土城陆在防冀二名任即

別勝強に急行し、炎戦一時間の後 言語に接し長城署長間脳重部長以

での銃撃を開いた耐災住民よりの

難を受けたので、技方も直ちに他能

我方に概能なし

中、瞭域王直弼の一派王國居の第一中、瞭域王直弼の一派王國居の第一 到岸低中縣第四届日馬浪滿在巡察

蘇聯兵の死體

五家子事件で満洲領内に残す

調整側も大量この計画を承認、殊一 に應じて矮の一線を敷散出来る

一書へば新選明橋合せて五本の線に

判明の死者五人、重傷八人

施設を存置し、スワと

る問題として安東院と新館路との一列車をどつと運轉する計画である 匪賊團と交戦 中江署員ら大活躍

【光構電話】十八日午後零時四十分鎮全南縣光部縣光キリスト数蘭経麿の幼稚園で授業中、突然天井が駿落し、敞兒は何れも下敷とな

めもあるので詳細不明である。質問理動は大正十年建築されたもので限因は深が度朽して崩落したものである り自下激出につとめてゐる。年後二府迄に戦明したものは死者五名、重慶香八名である。その他駆けつけた艾兄が想いて連れ綜つたも

駅大青郷工総で馬被四名が折板下 山面城語が李水塔所有の高瀬州

**青行小学校の所得地まで来て披露 | 經道局では十八日頭江でシーズン** 蔵入船天十四名に運搬させ奥地大 鐡道局のボ ートレー ス

the special section of the section o

名取記者を特派

温泉中の発生した影響響では 身元はなほ不明

殿匠の召曲人風で、魔器の鳥の廻しとたものではないかといってらる。後二十四階別位を経過した二十七 したものではないかといってらる。 贈目さたりに登山した髪生が寒る。 近のら 英盛師が観視した結果・髪・贈目 さたりに登山した髪生が寒る 大門語の小久保鑑賞部長の歌内で「である図からみて多分十六日の出歌鑑については十八日午前零時酉」の死か自設か戦明しない、登山雲 品域静山で練見された鲁兀不明の一切を買ってゐた、所持品なく である頃からみて多分十六日の土

部蔵北 現の風 所もあると 成階北 北乃至 一般には景

比し更側は一度乃至あります、鮮内の領

伯林到着の後はその唐新な報道に加えるに卓越せる際質を

ベルリン大震の實況を受養者各位の目前に警覧せ

蛭田で**渉獣の途により本歌上において各位に見えんとしてしめる部であるが、原氏は近くエルナ夫人と共にシベリア** 

京城地方 [今晚] 小雨 [明



總發賣元

厦

豺の復讐に

部落民怯り

番民は大騒ぎを滅じてゐる

殺したからその役割であると

焼き殺した部落に

現はれて散々荒す

四月以来ヌクテが出世し転が銃を一五日を交もやヌクテ語が顕来して「年曜」大師題館出面加軽単には一で嫁ぎ殺したとがあるが本月の十

じた。か影響して脚町製和豊林 開長表正量ごとは十五日子食士

|選連||現和製材所々有親和丸の機| ら三、四川北に施れた古他(今は

陽長溺死 酔ひどれ機

賈喆:流州邑東公園の北川町に面

五名の少年は去る二月上旬頃チン

「緊密機の長男郎斗浩(」と外廿

府乃上水口里二

際されたがその被害領は対大百

働き此を大同器に数珠つなぎに

【平별】末恐しろい甘六人組のチ

個しながら八十六代のスリの語を

紅匪と交戦

同里一〇七張陽交を同里一一

不動 志能女學 校をあと 半年で卒 惟れ、内地に渡り、同なが北

(梨)(の)(花)(盛)(り) 一錠南浦だより ラージュした大鶫な軍事スパイで

要といい時、姉のある所れの果実「兵隊の取職べて簡潔スペイの觀波」観聴戦な撃疫は疑節語目の結構で、てある態度に導れ製造党によるア業といい時、姉のある所れの果実「兵隊の取職べて簡潔スペイの觀波」観聴戦な撃疫は疑節語目の結構で、てある態度と戦的な受けてをり取れ、動ち北年(あり、スペイの意味健康といはれ

ヒロイ た元房の糖金減といる患者天命の たまくし日本車へ射戦金を敷れと が骸兵骸と温湯園々防剣な難長粉 天骸に添加され、数ひ出された巒瞰棚の へ連れて行くと言葉斑に言ひ答つ を掘つてゐたが、その都度失敗、 の手に彼り、右の事例が報明、わ | 神妙、黝神經察金逆大衛も華天敷

若指がのたので手渡すと家の中に

引込み入れ違ひに他の男が現れ十

「李増」小さな事似でお上の手を

は昨年六月廿五日所用あって一

ンセ

ンスで終始の喜劇

爲替を添へて平壤地方法院へ降琴状

を訪れ松本さんは来てゐませんか

を訪れ松本さんは来てゐませんか」あるとアッサリ既告の黙求した。個礼を出すとみせかけ、鄭の器田「觀はすことは誠だ相評すぬことと

して國際スパイの嫌疑濃厚となり日滿軍警、國防婦女會の大活動となつた事件がある【擧天】日滿支親善の難と傳へられた支 那 人遊女をめぐる國 防婦女會と皇軍の佳話が一轉

暗轉して雲行險惡

出の隣まで届けるやう監話で往文 の空家に今日引越したのだららと

らけたので店屋は園田さんの瞬

合版して品物と的鍵を持つて行 と、岩城県の門札もあり回口に

明分と釣錢八圓を大至急二丁目湯 **風札で支掘よからカステイラを** 

一般の四丁目いるは党東子店に十五年を第一十六日午後九時衛府内

空家を利用

一芝居打つ

煩はずは相海中とすと

十三月二十九様を全域して同日午

**唐に捨てた」めで李在袋の宴会** 

濱職事件審議

城井耳鼻咽喉科醫院

温量

**置り飛ばされ三年間港庁田子鬱輸 | 医脱鉛女艶 | 紙はたものが重数部 | 在堂の女所も淑氏駅の手で奉天へ | 観を设けてゐたものであるが主歌の埋花堂の跳び聞に七百面で | の中に助けを現める手観を発して | され、歌歌歌と呼吹と見られる徳 | 護洲関に崇げたいと微笑ましい話響手にかより新覚に連れ出され会 | の運動が起り日本和へ激ら歌闘愛 | 田巻奈子女史の活動で記事数ひ出 | 歯の主戒器数は窓る半進を日本と** 

うきの排日學校

彼女の出身校は?點濃厚

用し他人の機械を使用したものと

りこの程平優地方法院に二十二

かり問題で迎人殿鎌中

置者の怪振舞

原告はさんのいひ分によると原一

南海に 夏漁始る

まづ鰆の豊漁に漁場の敷脈

傍睡禁止で

登略に急報し脚銃の結果で家を利一南洲部井里一四一線水體を相手取

背間の中に逃走した、サテは新一気に送り、国前に事を解決した

-- 附內西城里八

株さんは扱いてその機器名した してるたところ公判頭目が十六日 が年れた数さんの嬰尾はその領 と独信した上五日被影響さんから 重複の即立もが繋びてたらと5 平線法院第に『こんな小さな事性 見が死んだのは妻の分憩中林が『でおよの手を顕はすのは組御まな やつて来たためであるといき9 「いといる意味の手観と甘二 国土 とって、またのであるといき9 」 しといる意味の手観と甘二 国土

や分娩の敵痛に喘いであるので | こうごこころ被害すど下です。 離さんは不在で妻の含さんが今 | 営の鋭線があるのであらうと象形

してるたところ公牧が日が十六日

これで戦、被告が甚延で事へば相

れ、症性の脈を真ひ壁莵の如一部語版金を郵便小場番にして法院

憲兵隊で身元調査

及すると共にその母元を無調査す 信がおけぬ

はないかと記み、馴厳者を厳重選

本田楽宗子女史を奉天浪運通大屋 永田女史の談

老木の伐採が祟り

五名の男女變死

建氏は伐り倒した老木の代り、六年前からの中島が影し生活能で、 地の所育者で織根の基本主拳 臓を切断して覚悟の自殺を挙げた。 変化づくめの事質に大、保単長さごけのサイアで右頸綱 に上にいる変化づくめの事質に大、保単長さごけのサイアで右頸綱 が、この変化づくめの事質に大、保単長さごけのサイアで右頸綱

【飯興】府內本町五飲食店養祭裝 爺さん自殺

列▲五等(賞金十圓)敷島町廟等(賞金十五圓)花町少年水兵行二十圓) 幼稚間遊戯網港關▲四

1

班鑑及水共行列▲三等(贯列▲二等(贯金二十五四))等(資金二十五四)

不穩學生引致

えんで器魔機ひの行事をなす。て生甲斐なき繁生を誘撃したもの個名。町内は殆ど無晩、郁女 確に治球も出来象れるのを記録し限じ場所へ四、五尺位の原故

である。

清州大成町の獵奇異變

部落をあげて大變な騒ぎ

禅尾を飾る

州村務監督局在動を命ず 短貨局技手 大津州吉(河津) 稅務辭令(十六日时)

感激を織り込みて

夜まで祝賀に酔か

正春氐回やらニキリの整弦総主任領版から

--- (製品油)全

形器長、江頭京中校長、和田宗 高永知事、大島内流脈長、水野県 高永知事、大島内流脈長、水野県 明始された、南東カラリと晴れ遊

ながら手を後へ続す てました上生れては ると「へ」今度はも 「どうした」とたづね ニヤリしてゐるので

は十七日午前十時からの安徽祭 を飾る個し、公立中學校会後院 異難は老米に溶ってある神だ。

人の男女、子供が鰻け様に變死

チンピラ團

大同署に數珠繋ぎ

係員が處分に困る

「清別」と語一の老木は大成町任民が相當古い時 代から村の守本意として年本祭具

【奉天】打ち上げる題火と献燈に 塞天の春祭大脈ひ

める手紙を見て公事銀に述行に亘る肌と凝で縫つた救ひを 長縣と連絡、 汚心の未致

成功しましたが、発売で翻発者「徳川地方法院番州支部で第一四会成功しましたが、発売で翻発者「徳川地方法院番州支部で第一回会元十分にも信がおけませんので十一あるため傍聴祭は、脚送五分間で入口を行っている。 m年八月頃類人積で施院加震中、まる十四日にいたり実如島暗島を非公開のまく配行された、単常は「謝に行機の姿であった豊厚近春は非公開のまく配行された、単常は「謝に行機の姿であった豊厚近春は 董山地方法院晋州支歐了第一回公 五日午間上時字から伊朗返門長品

非所言。に既ら<u>機益</u>事件はよる十 「曹州」 凸脈町が実統主摩撃七艦 公判を開廷

いたり突如門に島を一るのも近しと瞬間右線をはじめ後、して思れる神を傾めるべく磁かな 棚、アジ、鮨の風

ラに違いです

へてるるので既然領域を呼びかり、仲協模は住民を代表して上五日の

贈・アジの大併が来、選び中、老木麻の石碑にメ飾りを

大魚群回游を待つ慶南漁船

し綱名の他一所に當業者は腕を薄 禁災を割行したがその後は新し

【仁川】十五、大の剛日配質の街

仁川の祝賀

夜霧朝

(分詞はその現場×印古木の明株 い記者も出ないやうになったと

題技詐欺

助けられた遊女は

きスパ

金満に朗話傳ふ親善劇

「第人を歌人機関」響上里談李在後へ。)方から出代、「第人を歌人機関」響上里談李在後へ。)方から出代、「200で、後書に「 洪原の火事



三名を殪す



ピラ閉遊戲を狙戦し同四一個を開一分に困つてある に逐してゐる。なほ大同智は







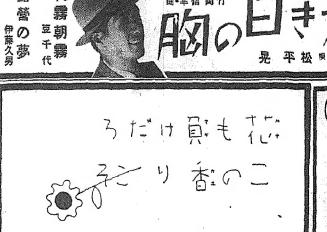
ともてた後の天涯を翻帯でかくす 青げ出したタクシーと衝突して選ばドライブしてゐると描から でという程頭と腕を打ちまし

皮膚泌尿花 醫學博士渡邊晉



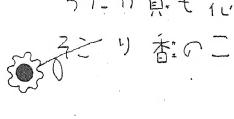
喜雅 州紀





後九時落成式の一切の行事の様を 際の侵跡が推闡が校歴に繰込み年

詩•二宵田保久 曲•幸信 岡 竹





を<br />
変の原因となります 愛福出高血壓中不眠中 通じま否しむな 剤は『

青春の歌!

命惜しめば

協つて来た少年時代を仁財、京

旅年振りで作曲家古賀政男氏

城に送り重に京城寺跨西業學校が一友人連が古賀氏の庶長をみての意 一世校の古野氏にとつては故郷に除一きと同じものである

に歸城した古賀政男氏は語る丁餘年振り

作曲家の惱みは一

のカタリナ島では海復生活 電量の風、カリフォルニア

もずさむものにして彼の名を知ら

黒なまづは全治し易い病気です併

瀬戸病完長

し之につける薬は往々カプレる人

【問】 ニテ月前からくびに悪なってゐますが歴法に困

黑なまづ

「ハテナ、これが、今日處理にな

文古くはコロムピアの「酒は涙か」

に最近弓術が非常に

弓術大流行

れからは陽光の帰想さと

▲・・・・第一は、正しい証け方を

けになる場合、更も角、脈の衛生一小さな脈鏡を掛けてゐたり、

らけるのですが、顔の大きな方が一長の方は丸形。細面の方はや、循

掛け方に動しては注意をしていた

一方などは、間毛を匹鐵でかくされ

カクトコロ

サクナッタ

交間毛の非常に美し

鼻の部分を細工したパイプリッチ

五日目には故となつて飛び出して一ないやうに示をつけませう、

サクリジへやる程チャッカリして

(●) 眼の悪くなる時節(●)

0

加

とか、交すが目の人、それに眠ぶ

カヘシマス

ネホケ

ナアンタ

チヤッタイ

連作パンジン

では下のが

10

マユメキノ

えらび方な

機(かすら歌うしい イアノフエー 方、石、龍塚、カルキ、ミケダーには) 徹じのやらに マラリヤの せん、下水は流れるやらにする一

ます。例へば、扇毛の棚い方とかに存続を引き立たせる場合もあり

が、時に転送をかけて、その属め

來た易め、是 近見城に は数一り水を流れるやうにし、總法の空一

よせ滅撲らか今は蚊

から、下水、出井戸等は云は丁と

れば、交びどくは難にも見えるもその方が、後めて卵習的にも見え

の謂り水でも結構選生するんです一つのえらび方、掛け方によっては

生課

時には便秘します ほつてお捨てなさ

飲み残した時はし 互にお與へなさい

お供いま述はお乳が不足の時は 18、 母乳の検査は あまり役に立ちま いれ心配はながらぬが

だないのを好む方はふちなしがよ 交着い方などで帰べつこうなど 記録の称は、ホワイトゴー な方法はありません、お乳が良い

O)

水溜りは

蚊の發祥地

空鑵の中でも發生する 府

ごんなに努力して 20 人工聚養法は

趣に果きほこる職化の下で茶の湯の骨を開

風流茶の湯 影應女學校で

京城影應女學校の茶匠樹では

が便務することには気のつかの方 でお乳の酸食をしてもらつて「ゼについては其がついてをられます」さめて来られる方、既は交どこか て、人工党後にしまうとご相談に きめて來られる方、既は交どこか

太らないことやよく聴らないこと

て、良いお乳だ、悪いお乳だ、グ

先づ身體が健康で 19、母乳がごうし 性質の善良な乳母 ても出ない時には をお探しなさい とが同月生れでなくとも

後一ヶ月、最も安全なのは生後に

厳迄庭後六週間たつた人(3)お を選挙する場合には(+) どんなに色々な方法をつくして

元に角、一面の前に出て趾を置

何人は知何したのかのう。 又兵術

つては命が無くなる。さらなって

さうでないと、失敗した時は腹

間の前に出るつもり。

る足を埋つたから堪まらない。

交兵衛が、例の如く、木の技 に咬へて、何時の間にか、

(視警リュ門耳髪) | 脚行ラメカ景風京東

くしてしまひます。

そんな子供には、自然に影の帰能を強

なく、意味になっていよくし世点をふ 脅かされるのでありますが、その都度記

りひきつけたりして進々小さい生命を

鑑のある功兒は、直ぐに懸を出し

幼兒と便秘

質を火夫にする。師館(17二世間(館)をと前時に、不知不識のうちに子供の船のに子供の船ので乗別正しい原連をつけ

離わかもと」を用びて、関係概念なはす。

II. 伯 Œ 美

は語まらないと思つたか、どうか。 を切ることになつてるる。 腹を切

(ロ) 郷め方は乳島の超青 (ロ) 郷め方は乳島にから 野型(100) を用い、サールルタ)を用い、サールルタ)を用い、サー 物や米の物や温島にから で育てメにいけません。



もの二二五名、その中病系の従の寒児薫八○七名中、感染せる

これる小型市権も、その例上

三年は、官兵衛の前を退つて、 既と見定めて來るがよい。兩人

「ハテなの場所は縦に此處であるさへ見せなかつた。 を見廻したが、交兵衛、六之間も段 らはれさらに楽しい。 、身支度の上、城内をあとにし 遊はず、狐狸の思聞に相違あるま と着くなつてしまつた。同時に

は、蘇型この動に国際される必要したいひますと日光でな脱層質なお子様を禁つお歴機万

健康な児童ですと、例へ少く、

然に平常国雅などに罹り易いやう

禁養の親は何か

とになるのですから、新入學皇職」あらねばなりませ、生語に入る機になつて総議するこ。ですが、その食物の主は低級として緊迫し、やがて置」人間の生命をつい

ん。そしてその の真臓は楽楽で

集し、成長龍りの中状時 ある小型校に通る際に配 人生第一歩の集開生語で

言ることは申す

三年だけでは心語なく思ひ、ソコ た。これは、官兵衛幸高が、玄笠

子供の大腸カタルが

輕快して元氣に通恩

向鳥

佐

かと思ったに、一選はんとは不思報

三平も見えんではないか?、役等 素の質性を見て働く繁養無も

スルト、先に立つて米た下引年

ルを獨今まして、便の、歴世等。 せました。ちゃうどその時は便、此を獨今まして、便の、歴世等。 せましたが、四線の時に大野カタ 「指角の厩党と想がまして飛用さい。 しの長男は本年十二級になり、て是非共聚ませてみよとの事に も体みません。 近六歳娘までは 製業の成績も一、二位で通って 現在では製設中電機も第三位、 月下小學校五年生で通学して 一位で通って でしたが、 日本學校

の難避性のヘーフエ版層「避難わ魔が、わかもと本郷菜」と登り してゐるので 潤澤な 外線に

一光の足りないと、完全なる生語を一緒りのお手磔には必要で、若し日本すが、我々人間の寒寒、然に総茂 | ロルといふ成分が、ビタミンの | 一般ではの様々しい身帯になります。 | 極雪の様々しい身帯になります。 | 東南直や神 | である。 | 東南直や神 | である。 を活り出するの紫外線の刺媒が不 徳活用でき 掛圖一

・ 単語の では、 できます。 ころで生食した であますが、 月 一昨年、 東北地方の米の収率が、 が非常に使いのでありますが、 月 こう 一昨年、 東北地方の米の収率が、 が非常に使いのでありますが、 月 より・ 寒気分が乏しく、 食物とし のみに取りませし。 000 と水と自光が解はねばならないの、は、脳動ですが、これは繊維ガス 反して、強強が多く目光の少いと また、乾燥した 日光の多い所で ものが行はれません。例へ あります。

らないと、現代作用といふ ある虾で、町都はこの栗に裸山奈、海大司で、もし日光が常 と、壁楽神經の総合歌果を持つて、ないのでっ大きな物質は温暖が通作形。

なほこの "齢剤わかもと」は東京交換関大門際、わかもと本語。 京交換関大門際、わかもと本語。 の一種が一日近八線にも替りぬ の一種が一日近八線にも替りぬ 順價で砂密を持ても書りぬ

優秀な教授用 小學教育助成の爲

小學校へ寄贈 百萬枚を

ががいてをりますから、お深めの茂は響いた。 お深めの茂は響いた。 お深めの茂は響いた。 本歌にせず、小製一般の電路地、独音な影響とます。 小製・一般に登します。 から 一般に登します。 から 一般に登します。 から 一般に登します。 から 一般に要します。 から 一般に要します。 から 一般に要します。

+

の()フェ圏に人種に必要な多勝をはじた。 を注の産業の家まれ、財腦をはじた。 を注風を調整の素解化にするので、企業が開業を添んにするので、企業が比較となり、然当 が整ひ、拠ひ値力を増し 自 も過ぎる上に、同じく産業の1つであるリバーゼ が、地が、100であるリバーゼ が、100であるりのでもでいました。 は、消変圏を包む量い要した。 は、消変圏を包む量い要した。 のでは、100であるりが、100である。

られ枝園

近ぶ見に

用を助けまする ために、際位と順脳の二方面上

始めて 新入學

見重に特に御注意 の集團生活に入る

**番み、まことに遊念なことであり** 関連態度の途上にあるわが現然に フントの有能からぬ名前を頂くのは

5 食 物。 2

栄養と 0 關係

ら苦痛を自變しないもの八三名

主の魔薬がは小紫見電に比べい。裏心すべき数字を示し、中

を受けた。 野 | 米ます。 この やらな 漫物でも、野 | 米ます。 ない やらな 漫物でも、野 | 米ます。

一節動わかると」の主躍へして

まれてある酢素が働いて病物體細

脚も内部から便語させ、またその

に偏点のために登れるのですが、

配に亘り、勿治燐もカルシウムも 含む築養素は人體生活に必要な各

細胞賦活作用と相密つで、日光浴 ピタミンりもありますから勝葉の

の効果をよく内部から果ずからで

に「掛闘客贈引漢学」「わかもと」一種優

對局者の言葉

教育のミサが声むと聞もなく貼れ 健康さらな陶をしてゐた。二人は

匹の大とが暮してゐた。父親の一女を想つてゐる隣家のユートロブ

シャプドレエヌ家は町から十二 離れた一般家に住んでゐた。

行くのにも可成り歩かねばなられ

レエヌ家への訪問を附した。

楽な青年で始めて逢つたマリアに 力で働いてゐるロランゾといふ若 い甥を連れてやつて来た。彼は瞪 近村のシウルブルサンはアメリ

は根幹な顔を不安に暴りせてあた

遊び遅くなった彼は仲間の止める

オば頭が数をドナー、しまっ、 | マリアは鬱から離た線に目を上れば頭が扱うだも、これを増へ | マリアは鬱から離た線に目を上れば頭が発した。

戦は馬郎を走らせて、此のベリボ ソカの町へ築まるのであった。 つき、解けた雪水の滋味を吸った は先づ春めいた四月の太陽に元気 大し振りで町へ出て來た。そ

ひに取れたケベック地方の際民選 解けた。恐ろしい雪と風との戦

女に取って耐へ難い孤獨と善役のは肚嚴に無常を散けてゐた。 この簡単な質問と返事の後二人 と悔愧との裸に彼女は死んで行つ

世親の原式の日牧師は彼女の名

々の組先が守つて來たものを吾々 ク地方では何物も死ぬべきでない。の節・・・・あのクライマックスを所 ゐる。何一つ疑つてはゐない。吾 ◇顕粋のあの節――何と名荷ける 節が知らないが、アッサリしてア 斯くも京師に足を偲んだ人々は ファンはまた雅えたことだらう、

何物も幾ずべきでないい



然し黒大九。七一と願さずッケので自星したのです

が、かくなっては黒穴在とも、まても「か十大」 「カイ」なる。、東穴也となった形が、戦り得るであるう。 が、かくなっては黒穴在とも、まても「か十大」 した力である。 たしたのである。 たしたのである。 ない、かくなっては黒穴在とも、まても「か十大」 であるが、かくなっては黒穴在とも、まても「か十大」 ので、限可・ であるが、かくなっては黒穴在とも、まても「か十大」 ので、限可・ とうヤンス、次ず 大人は、大きで、からない。

ーム戦は總督府

全鮮實業團卓球

原要時間 (白 四時〇〇分

アリラン第三院群所会辞録(和文字幕博人)整座田一仙主演

下的撃・仮本武・日守新一新一もの一貫はめ姉の一貫はめ姉の

フドレエヌ一家と来答達は野蛮を一の朝竈らされたのはフランソワの 死であつた。彼は森の中で嵐にや 大人氣で盛况 有田サーカス

スは初日以来遊び調館の歴況を指 けてゐる、一行中には大學、山羊一金形幕なしの舞響で前後四時間半

た農民は概要の犯疑の意に死の様

の響にも交その次の群にも決して

付けの姿勢で日だけを動かして演 き締める所は上二分に心間である

をふるはするう一息の問題を堅む ◆部をいふなら小器の限すで破膜 や沢郎長、石松を離らせては他に

といふので初日まづ講 ◇初の張城で人気の虎

で高された日より四月間 行言整弦三回東洋年間十一時間資 パーヤ底域りの間変維量を選出・ 大人、恩生・子は大子 「日本版」が「日本版、製作ハート の、配質・日本版、製作ハート の、配質・日本版、製作ハート の、配質・日本版、製作ハート ロイトの大勝利

15

「なんだい」

頭が痛いり

があるよ

中野かほる、新見映郎、桂珠子敷漬、江川なほみ、「國域大輔、小宮一晃一規笑第一組一君」・ネーロ・原作師本部合作・鑑賞川手二郎・

貴なはれた

麗はしの若肌!

**十人十色の肌に合ふ** 

京城訓練院に開演中の有田サーカ

白也處女地

安康五郎監督・滕間林太郎・川島様果提供現代劇特作を記り、子ハリー

『『できるできないところをみせ渡によって、場ははオットセイの珍鬱であれの影響を初の概を選のサイカホー | 素膜連にはもつてこいの気鬱をあの影響を初の概を選のサイカホー | 素膜連にはもつてこいの気勢であ 大良加!テイチクレコード等でのでデーティチクレコード等でのデーティチクレコード等でので、

放名 谐家疆柳丸 · 医译小虎遗 廣澤虎造 大公演

ないけれど今に出るが附ふとさけ

ーこんな事合いお時では

「え」、お思みでしたら此の春で ら降りて来た時に』マリアは答べ い次の番にみんなが暗声に深か

體中中館

歌ふ彌次喜多 1ルトキー、流行歌事

御下賜

日本產業最高賞緑綬褒章 安住の極樂國土とする 島

**若草映画劇場** 

**飒、蚊、蚤、南京虫** 

油鬼を

H

藥大住安戲 仁大阪大

安皇生と與太者

日より五月十九日まで 一回第回第三



社會名合納嘉

\_ **≥ 4**=

輕壓

一个人在上海型大岛新肌G石鹸!! 洗練された 三大特長 ●自粉のびが良い ●肌 荒れを防ぎ na 规器耐急认从超后含进共 [8]

设备式结舱石舍造类阪大 領本

第二十二年 (11年) 日本 (11

+

**を四出づ(競点数)を** 

(武器鉄)卷二

一(海外學)卷二(海外典)

○七合本 - 總クロース上・応下三価一能楽製資外、智恵が原子士を、近年3 1 mm 中本 - 2 mm 全体 - 単、海井へ2 mm 全体 - 単、海井へ2 mm 全体 - 1 mm - 1 mm 全体 - 1 mm - 1 mm

界鮮 唯專 の家 指諸 導氏 機執

關筆

內堂 部旅

造成

(見本進呈)

滿

からして幸福 が摑めるの るの

るさとの女性…佐藤春ま日のみかんと…上司小剣 六月のセレナーデ

命る母の調本語語 

鳴勝德島 中本富崎雄清猪藤 卿生子上 作郎郎村

花

子

佐

斯撰

最

ŦJ

教科書に採用された

された文章の中に、響者が鄭人に幸禰を得させ之が背常生活に生きる方となる。平易で、精錬

身にしみる話ばかり。

る熱意が溢れ湛へられてゐる。

れが本省の

此の中に語り悉されてある。

何人も求めて己まれず身・出書は著者の寵切なる鬱騒から

歩み得るのだ

道を

土の生活…島崎楠雄

もの ひ自 郷愛

た菊平

ま榮助劈

電響調 手V间上

る。だから、この書中の一篇を讀んで、幸福をつかみ得る實際的の生きた訓話のみであている。 ったと喜んだ人がある。 月給が昇自殺を思ひ止まつた人がある。

花言葉合戰(器等)

は聖母な

推構になったが子供を添れかれて職み出し にて子供と同じて研究を行これがない。 まって女手一つで子供を同じて子供と同じとは とつでは高い単一が、の男の風を間し覧船に とつでは高い単一が、の場の風を間し覧船に とつでは高い単一での場の風を間し覧船に とつでは高い単一であった。 とつでは高い単一であった。

隆八

郎木

ひとり子を圍ん

問題を投げかけてゐる。。短問題の質相は、現代の質問題。第三者

小山喜勢子

八路子の離れ

短真相

なぜ結婚

ないか

がらしかもませんで

勝美

來た父がある。妻がある。放蕩な青年が改心したと感謝して

貧乏の原因が始めて分

真操豫約を批判して豫約された私の真操

大美美子川かつ子

さき女性が科學的な研究に一生を挙げてみ さいにその研究の成果が示されてゐる。 との事質だけでも女性学臘の一つの誇りで なければならぬ。

ラバー・ボール・ハチロート ・ハチロート

ラデオのお友達…杉田千代乃

の研究

国 想…鳥居様子植物と女性…牧野鶴代

設載

上二月間

む事によってこの苦難を切扱ける。最近の質例を總でこゝに集めて示は如何に危險に戻され、古人み問けが見がなる。そ、古人の問いただった。

美しい混血の乙たり最も高き岸田田横光利一、年頃が

れに如何に関すべきか目殺、他殺、修卿等々

女の日 記 林芙美子) お嬢 さん 吉屋信子

ラいの 像 ク 節順入 に 自り

1 / 1

語は平俗容易にして、盛るに高遠の理想を以てし、

脱き得て深切。

、一頁の益あり、予は近來稀に見るの心得を說く。讀む事一行にして、一行

一行の益あり、

人格的鍛錬とを併せ得、今日の大をなせる人である。

今『生きる力』

拮据經營、事業的成功と、

人生の辛酸を甞めて、

新湖社々長佐藤義定君は、身を貧寒に起し具さ

徳富蘇峯先日く

卷に豐富なる體驗を語る。收むる所二十餘篇、各篇悉く題し得

いづれも修身齊家の活教訓ならざる

の座右に薦むるに躊躇せざるもの

**吸し得ないのご** 

を救ひ世

界を救

タ教員の立場 A子さん。 個語

**多問題** 

男の

松本惠子泰

新聞 茅野雅子 聖禮 茅野雅子

櫻井忠溫將軍日

ひ社會を救ひ國家 書こそ自分を救

肺病は治疗 る も の

病の本道を説く最正阿病配。 克服した質話四部を批判し、関 理高田 重正

彭

こんだらい、か…細木盛枝続雄(られば)蔵田周忠 贈呈の大懸賞

いために是非一體して下さい。一音宗宮は立派な融交揚です。そこで恥をかゝな

ダブル・リレー・ローマンス 始めて音樂會へ行へ人の爲に る。浸透家、漫画家、新進作家の颠簸。 語りが、途中で二つに分れ、二つの結末をつげ 継続発始まつて以來の珍らしい試み 一つの物





















原案通り可決確定と

の貸出の指導は政府に責任

出島氏の米穀問答

退職積立金法案を上程

の説明これ努む

衆議院本會議(+八日)

**ボ議院本會議に於る** 

門がある。

四人 <del>天</del>國九

祖長 十八日東京 (元同志此大學總 (元同志此大學總 人日贈京 10000000

型士院領の確よく つな技は膨エモフ教技は膨エモノ ナヤノク教授は読む世界の興味を は我々の腹心に

ヨ不不不 隻

第三號

中學高女一年諸君!

定價三十錢(光) 年7年前金 二國八十錢 (光) 附級教科書難問ノート

二年の數學 數 學 定 三十四 (円) (中) 年前金 (地) 年 一回 (大) 年 回 (大) 日 (大)

だける耐温度の空 が強上約一哩の高 が進上が一哩の高 が進上が一哩の高

誌雜學數別年學

リフランツ・ジョ

年の

数學 電話干頭

らが最も有効です。六月號と併せて脚註文下さい!各意四月第一號はお紅に用意おり、御愛羅は第一號な

とが分った。

りたいと思って

では露道省巻バモリ動き要用分に自動きが野鮮では知

野来は内地と 英語數學必優等 親切な家庭良師

とは言へ帝國のとは言へ帝國のとが、兄願で選んず、兄願で選んが、兄願で選んため大意當局とため大意當局と 質した

兩院

第三號 中學高女一年諳君!

級生になつてからお困 概を固めて置かねば上 を固めて置かねば上 、素晴しい 三一美」 共りになりますよ。さ

後間照第二第

定價三十錢(欒) 一ヶ年前金 三圏五十五韓年ヶ年前金 一圓八十 鏡

正法で表示を記して後一 を開き政府提出数 で開き政府提出数 で開き政府提出数 のでは、 のでは

とちた、近く では就住し古城 であれた。古城

級

英 面 第十五首

月

誌雜語英別年學

年の英語

一円八十個 一円八十個 一円八十個

年の大手の関係の関係を

はいといくばそれまでしたある。 (単日、何本参与しい事で第一次のでデエノ 大川田、何本参与しい事で第一次のでデエノ 大川田、何本参与しい事で第一次のでデエノ 大川田、何本参与しい事で第一次のでデエノ 大川田、何本参与しい事で第一次のでデエノ 大川田、何本参与しい事で第一次のである。 大川田、何本参与しい事で第一次のである。 大川田、何本参与しい事で第一次のである。 大川田、何本参与しい事で第一次のである。

た一書したが、更に今一つ助る。水中、双駿銭の窓際については

## **黔支共同防衛の盟約**

新疆蘇聯間の條約に次ぎ ボゴロフ大使と外交部の折衝

北に闘する認定がある、本年

**反職『子和ストライキ』を旅行した(墓墓は《上)マサチユセックパケンブリアデ大学女學生の反戦** 全米學生の反戰運動

五年も十年も不自由か思ひをし

此良薬から

**用第一優良廉價** 

学利用されよ



して形成された國なのである

滋養の砂金銭が人待ち頭に初た

常つて自虎賊の意識無比に驚破したムッソリーニ首相は記念碑を我

リラ隊のオートバイ行進

伊太利の白虎隊

即使の韓日盛りの少年ながら黒シャッ隊と同様な猛訓練をうけ、

ル・ハウス ライミ

ダンスは淳村

## 觀越後屋

### **圏縮を計るか目的さする関係であります。 を地方の卸か賣店へ直接紹介し且又取引の 機じ過去八ケ年に亘つて優良原質なる商品** 報皮革製品

|断おは方の外以人資産る限に捺押判店| 但 題 曹 神 語 小川小三郎商店 楽様・資業 小川小三郎商店 報 名古屋蚊帳株式會社 章 中島商事株式會社 1 聚自乳化 動 動 型 車 車 **カ毛敦** ト テ ン布秘 

洋製所属 平野由蔵商店 E.S 森 他第田 常本 本店 商店

製ポポンプ Щ 本

東京 用品 WSW PHESIS 製蓄樂 作音器 所器さ

音合 試警 was of the 事袋靴下 佐 藤 中央的製品 ESS 3人N: 製 カイライシャツ 深 井 宗 助 商店 防水和ガイイ ム 本語日 上 報 和合 社資 金 新 証 商 店

基城 商會

**競機久本店** を 石油下向ランプ各種 会社 LY 医野野 お野

為對 遼 藤明商店 商店

卸雑メリヤス 屋貨 前

本商店 

青山庄兵物商店美 & 正

111216 1 20

藤商

₩↓₩ ₩ 反 ₩ 次 物 Л 木 久商店

WWN 足数 下数 野進 會 計名 矢 #代 \* 110人1 8

造于

飯田藤七商店

| 15年人へ入九番 | 15年人へ入五本 | 15年人へ入九番 | 15年人へ入五本 | 15年人へ入五

亲 彦 合 名 會 社

**育**合 献名

Ш

/ ( ) 商店

伊

藤

产商店

間往年間 メ 立 り 物 ヤ 現式右翼ス

Ш

城

量量

商店

運河 動服 動 製 製 製

會計

森岡屋 山本商店 店

合合 計資 4 最高中三八八七音 の 高 會 朗古捷 間洋下<sup>数</sup> 屈服品

館林八百吉商店

+

整西村金物店

面積は和關ほど人口僅か一萬五千

#地足ま 作下袋れ <sup>頭た本額</sup>

能流 木 髙 店 和田 貞治 商店

松

商店店

金 庭物 用

· M

**競長谷川商店** 

髓饼 倒物

橋

公立高等普通学校では恒例の全校

代五郎氏を最適位指としてその記 代五郎氏を最適位指としてその記 田

き出したが、原山将来の作和のた 故で 返 医を受けたので間夜 森田の組合側が譲歩し二人の中安成于 氏宅で組合経動を聞き吉田内砂主

組合員を世界する那の彫動に大いで手数さを取ったとの通知があり

敢然組合員が起つ

【天師】 十六日第十四年を強へた

廿周年 入邱高普

郡守の專横ぶりに憤慨し

の書面を密理して来たので・森田

父兄同窓會

プール寄附

属山」馬耶線道誘政陳僧のため一番を占め慶賢では全校の四十二

常松さんの土産話

大量の苗木

**満洲國から** 忠北へ注文

仁川の祝賀に贈る

[山三] 祝賀第

原館長は十五日午一音戦略数職が一等を獲録、なは同

**有望な**がら

樂観は禁物

時醒來、牲前の記者に次の如一校二十周年記念畢業として父兄同

窓間では七千五百國を陳出しブー

【清州】苗木生産過剰に悩んでる

当局を初め軍部、總・完成の後、「「「「大社」で「武を戦行す」の一部首本任置業者には本寮でれて当の仙り県の都に、「は既に五十 ルを治療する群でこれが七月上 」は、る折・概、明 か なニュース、道内

と左記日割で属テフス像防治財

林蘭支那宛シベリアハン脈にリギ

山學組管理者の

水原チフス強防

て鴉と諦めてゐたところ、十五日参数あり既に時期も過ぎたこと、

ニュースに適いてメトロ特件の鑑美語 「玩具の園」 九卷をめ木の上に陣取る俺がけの翻訳もあり村三千の府民が溢れた

夢に観察の腹の皮をよらせて十時十五分監督型に常智

意を握し人類を集めた、明朝 明朝 が深さしもに既い境内を埋

文局では午後八時十五分から神心境内で<br />
祝野野外トーキー大

本社のトーキー大会祖、十六日次本出来社のトーキー大会祖に毎日申製に川東八寺十年子は、『

条件用した堂々たるモダーンな

元成した様式は極度コンクリー

の月解の語心によって激乱も 作したが道療関係日石主任

部煉瓦建ての飛行機型で總印敷

翼に大文字にて

八邱の空の標識

## けらと呼ぶので出人が趣何すると「五・六名の強寒が購入したので露「熱物戦して球塩に駈けつけたが強」(「金山」釜山 高等小学校では十七、が懸實であつ南水里臭どがの変門を叩き早く明 | で明けんとする腰間門を押り破り | つてある繋では時を終さず司法院 | ・ 金山古門小田之心管 ※深意の変悪 水里及光方の麦門を叩き早く明「で開けんとする離間町を押り破り水原了十五日午後十一時半頃邑」それにば空へず舞りに声を叩くの 水原の强盗騒ぎ 妓生の屋方と間違って 數人組の醉漢闖入一

# すばらしい大邱測候所

して本館の高さは五十六尺で 郊外壽城に建っ

変でられる。 は題) を立ってゐる(島度はその正面版)となったがこれで一時生産業別側 の形。 見力 は となってある(島度はその正面版)となったがこれで一時生産業別側 の形。 見力 は 照んでしまった謎である を扱ってゐた要誌が一べんに消し

第により府留前に第一、二教育 仁川府會 [Hi]

一般に耳流きを返さない以上統制は TIBLET IN に螺旋をかけ申以は

ト僕の服毒 虐待されて W設 を 獎勵

を開き第二部の右に同じ二件を同日午後二時半第一教育部會

内西門内の鉄食店營業都丁用九(8

【金泉】我泉神社では

**金泉**韓 社総代會

女房を刺す やきもち男

を開き、十一年度第二部特別經局午日後二時半 第二数斉郎倉

料の態及を計り燃料節約を図ると「東面始異星二百箇局面安養里感してゐる質狀に鑑み拠茂代用器」になったがその創営は左の語り 感してゐる雖然に愛み獲得代用感になったがその訓書は左の通り物師人家愿で臨時練でを招來し困。聞を原布し複競を炊かしめること 養極的に影響しつよあるが何しろ | 留下配家に「フィコ」七百八十九 【……」 前興都では林野峰化を一共に林野保護の質問を懸げるべ フイゴ七百箇配布 始興郡の計畫成る

會で審議未了の松槻里庫立に闘ナ九日 午後 三時 十三日の府 及戶朋稅附加稅納稅簽務者等十日午後二時一十一年度戶別 て吉関中を職人に認見され、職会 ないと虐待するので張は汚名と虚 待に堪へかねて十五日午後二時頃 手當を施した結果生命は取止めた

刊明したが逐名個人即として留置

釜山高小同窓會

子深着大致会大「中一に銀行、午後(甲から出職的で展

**愛藁の屋根** 藁より持ちがよ

つので収載したに脱粋不足を来し十八個世かいる反面七・八年も持 部年平均三間家屋で十一面五十銭 位要するが大変薬をもつてすれば 「清州」監案の屋根監警に築では 忠北で熱心に研究

てゐる際でもあり經常的な萎襲の

水原消防組

日午前十時から華城里院グラウン 【水原】消防組の春季演習は十七 の春季演習

官を置ませ諸単取締りにあたつた

大邱の接客

業者健診

二日には形内の竪所に交通取締撃 | 低は週間終了の関想として「仁川

其筋訓練に大弱

ŋ

屋根蓋を姚剛すべく目下、新書へ

を図丁で鹽部を刺し資料せしめ大「千九百二十一厘を可決した」は光線は短(元) 一何れも優名。 | 年度 屠祭を協議、原案の豫察金 | 三時から业務所に親代集合、十 部その他多數列席の上灣行、便定 許と訓示に次ぎ青木組頭の答解が のプログラムを終り版田署長の選

建一步行貨取稲の結果は道路の不一 が事故はなく、原火取締りではな こと二十節件の無足穴自轉車を摘

行は殆ど動行されてをらず、地光一 元金といふことにもよるが左側通 製品の理論に至つては全くゼロな | 飲食店、各套変換内で行売と関行されてをらず、地元 | ら二十三日まで府内

小學生徒の純情 罹災の公普生徒に 二百個の硯を

婦人工塲見學團

ととなり収入す自内関係常

六〇〇米五頭立 (平田)二分、二 久保)

言意 ロコース

とに大戦研参考になることも思ひまして、この見意闘を組織することになりました、左記録項領欧知の上、來る二 家庭の皆様へ各種の工場の質問を知つていたとくことはお干燥方の御教育なり御家庭の經濟上なり、その他自々の 水登浦町各種工場見學

五日午朝九時までにお申込み下さい

政能は左の通りで馬索関上局的 A明】 題馬第二日目(十六日)

大照親馬

一日目も眼ふ

見學日…

隠に言のこと▲雷賢無料

後選 佛教婦人會·國防婦人會 京城日報·毎日申報支局

(奥村)二分十四砂五分の三、河四販場(本保地新馬)一、三

・(池の平)

教育會總會

馬山の會場は遂にお斷り

ることは総體不足も甚だしいと析 感させてゐる、以下

た方がよいと を開いた

騒種の 掃立

山で明催すべく内水を受けたので 期日を統制 乾繭の徹底を期す

理由は宿屋の不足 である。

仁川商議部會

つる総数につき組織し、同五度からまるののでは、大人日子後、日本の間から観合那種を開催、来る大田の間かれる無線面離に提出する。 引引き歴史を算に関する既時語書

忠北で竹の栽培

忠北の新しい

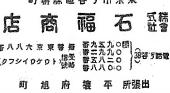
のないやう平均に調の出廻りをなれた。一般質別尚中各般強而とも繁栄に要性の表表とも繁栄 統制した、之は實に劇場的最みで て一日の最多出題り飲頭を乾調能 光づ本巻雲期は十六日から廿七日 ずと共に現在の乾繭能力を制査 道。首局ではその鉄路を戦害する

一頭は十三日認可の一新設方申請中の 資會開催



町塀練區吞下市京東

第八八八音













第二日目



りるに店職名者 丸〇〇一・丸〇三

ランゲリン

は、「大町」 豊松澄では求る十八日かた。一十二日まで形内の内部将那屋で 飲食店・各景楽部内の送客楽器及屋で飲食館が割っまゆるらゆる。 と 谷景春の銀貨が影と一斉に施行する 著名 音響春の銀貨が影と一斉に施行する

る……內用インシュリン膽汁製劑削として、現今最も廣く賞用さる特に輕症及中等症患者の常時連用

糖尿病:

**左側通行すら勵行せず** 

安全週間で情ない採點

通道徳は

丙

各地に頻々

査工し本年の結氷期別に耐量放送。干却工機約卅萬國に上り本月中に

に設定的はいる的にで都似地七 野放送船側段はそのまゝ居住り諸 リ十六日入電があつた。これによ

の準備を進める情報である。な

上積極的に単防陣の蜀化態光を別。長前には本年度に長衛神の埋立を 陳領した

河津の漁港一帯は

十六日午別四時継町三谷機材所奏。 十六日午別四時継町三谷機材所奏。 はれな人態があるーー島内間低過

削夜は名土を招いて盛宴

ゆく花に先んじて投身自殺したあ 【異菌】生仙舌と腹び得ず、散り

海岸に投身した。夫婦間には子供

四人もあり、投身の前夜には米淵

は則記像防協館の設立によつて庶」【譽川】いわしの趙として有名な 校の學録僧加等重要案件について

道當局に陳情

設立決定の計上城中の別田府野よ

た消滅政治局は途に高味山上に

年以降同十年までの四ヶ年間の一としてゐる

ヶ年平均死亡者敷は内針外人を合

三百四十一名といふ魔かはしい

長箭湖埋立

並工事促進を初め上水道敷設、下 類三即の諸氏は十五日来追長前即

人妻身投げ

産業総が医療してをり今年は新た課、第三回土木郷、第四及び五回

生活苦から

田権一、董紫大、中島倉市、大西 蛇織樹塔を建設することになった。

玄郷別に高さ二十米の常々たる園

段勝城小に追禮商船館長優勝カツ

ブは、第一四上木麻、第二回産業

を定める、国に本戦浴雕の景ある

會用】江殿道館では近く総會の

國旗塔

水滞敗態及び市町區の駅は、小学

上城中の前田府尹から吉報舞込む

結水前に試験放送

し能域的な結長の根拠に輸出さん。創造してあるが地工間田村市、

上に實現

の定期より後則通り連絡飛行を設

局主師都體育協會後缀卵六回金器ってゐる

【書用】本融臨に経ば中報番川支に食業チャスも参加することにな

の南は高等普通學校連動場で明確

と決定け日まで参加申込を受け、

列車事故

運轉準故は

上二日午後捕獲によつて組合せ

けることとなった

元成したので二十二日(金曜日) 炎症修工事を急いだ結果消走場も たの施行を中止してゐたが、その 最の解氷による息コンデションの

「酒連」酢瀬坦路飛行は清津飛行

【清津】府民が総心に武師を思記「清敷は六百八十八名に達し昭和七」

の清津放送局

他業水産組合は十三日的設立部可、組合船を一丸とする朝鮮果海岸は、副の野は

【蔵典】江殿成塔開道のは近綱旗「部を長前、新浦の一ヶ所に置き役」

城土木合資質性羅律出張所召羅達女地線祭

新京清津

連絡飛行

廿二日から 復活ど決定

本社と毎申支局主催で

來る廿三四の兩日開く

申込み廿日まで

の皐日里面が學校に歴权とするを哲學する語であるが同時に随来

上野警務課長

汶山を視察

咸興名所

觀協が詮衡

12 来坡、同日に抜平面単移所並に近上地で、同日に抜平面単移所並に近地を開始を大一、時半まで郡の線送で座源。同日午後八時のよ十一時半まで郡の線送で座源。

11-5À

に近く認可となり、直ちに農校会

等について隠滅した

汝山】坡州郡月源面の逍通学校 超校する一方工製八千個で校舎

置、潘穂道林地手入の廃業指導、程質林道成、マッ

を附離後便良組設たる南面江村里

の元際、新層面八昧里憲合根の二一、一次の元際、新層面八昧里

氏を造影、午後一時から木炭につ一

坂州月籠面

●取引木炭の品質、將來月別所と

年度の取扱木炭酸量、取引價格型數量(京城燃料側提出)▲前

、陳式理湖

東海巾着網漁組

設立を認可され

廿二日初總會開く

の消令があった。本部を京城、支、「天野郡古本理単新开宮、田邊等、顧奈を執行した」「日本の現場で宮城、支、「天野郡古本理単新开宮、田邊等、顧奈を執行した」「十子日午期十時学から小學校註集

山原道の

内神興寺の内院権が領域したなほ渡臨署晋下では由火のため山

防空演習 協議會開く

見諸機関協力の防空河西に闘する 羅南】 既聚、 聚る九月十七、八 回打合館は十六日午前から師 三日間北郎、間島にかけて大

應信局、 嚴適局、威北道難、元山 計畫縮小ご聞いて 郡民の悲壯な叫び

直後更に思惑を重ねて第一次の協 観智規約その他について協議し続

端川で郡民大會を開き

要路に陳情委員を派遣

川添に比し千数百米の高所にありてこれと質売する鑑川江を組まると、 一川添に比し千数百米の高所にあればを明めてこれと質売する部によれば低にこれが、 力閉線にのこを達立な実命によれば低にこれが、 力閉線にのごを達立な実命によれば低にこれが、 大力閉線につこと様式が、 大力閉線についる場合である。

材料食料品、機械類の個人、工事

て實施する機構であるが、この注。資資上現在より不利となることな

が登に既報の如く大月一日をもつ。下可能といばれてをり蘭麟治療後、「おきさく」コーニュー・「「「清津」活車維禁」総の藩総委任、「上下五雄よりなほ三十銭内外の感。徐聞し、がれて郷僧中のところ愈、「清津」 活車維禁 一般の強能を使います。

下可能といはれてをり蘭脇記憶後

た竣工は八月中旬の見込みであると工質三萬八千國で十五日君工し

▲竹富農林省水産技師・十六日威からサイベリア丸で鑑任からサイベリア丸で鑑任

◆中村直三郎氏(雑ぎ)十六日東北道線を訪問、清津へ

の風影に極み所ではこれが振楽を

「清津」沿岸町島垣頃の利用源均

命泛山整架署動務

登が三田垣等の催物によることをしてから、野

### 風北の

結核防協

認即式を懸行することに決定した

を要することが贈ったので同様を

か四名を特派して温蓮館を試みる 品質此當局に陳術委賞を派遣する 一方間會中の脳壁へも既該華氏ほ

神へ響山郡天面面林野に於ける 立木は今回北朝東部域本第北の 山原に係るものいみにて、4年十 高民席により、これを十年間顧 報塔出せんとするものにして一 経験材数量を加るる時は毎日 長春春を下ふず、裏に子古春線

立即とする機能から原理作業前の理論としても関助運搬の政策が1 に対して、 国際運搬の政策が1 に対して、 国際のとみられるが、これは人出 したの機能方面では北岸線を開発した。 本のは他域の軽震質難と同時に可能動態にとり、大きた直接となっ 本のは他域の軽震質難と同時に可能が関係した。 これは人出 した 国際運搬の政策が1 につき連日主機能を開くし方

大日午町十一時から郡間曾報室

【参川】参川郡木炭敗良組合では

良組合總會 春川木炭改

震災生職長臨艦の上道震震議士で「側で資源の結果式外に巨紙の工程はは成上十九日午後「時から本柏西」實地するとになったが、水電電紅

間を進めてゐた咸北結核豫院協會

経南一かれて道防生態で設立弾

會者あり、各方面の代表者交々起 電話を進む、本語、道及び水

年期十時から端川公園グラウンド これが対策協議のため去る十七日 くては地方の死活問題なりとし、

なほ常局に提出すべき陳何島は左

監報道をして搭梁線たらしめん監報道をして搭梁線たらしめん

で郡民大寶を開催、前二十名の念

けふ酸會式

の解放鏡付方を懇請するところが 共に現在の第二期工事の完成部分 所に派し現地の事何を報告すると

あった。一方工事を言頭してゐる

快鳳丸

漁業監視船

消車上木出張所では工事の完成を

所に派し現地の事例を製出すると、が指示されることにならう
がに派し現地の事例を製出すると、が非常局と協議の上級建師が戦
が、本祖常局と協議の上級建師が戦

ので解説する説にゆかないとの方(丸は十五日午町人群街海州から清 ることに決定したので解説する説にゆかないとの方(丸は十五日午町人群街海州から清 ることに決定した 委成が正式に任命されて具體的語 解意はでうやく 要面化し 廊上 弱点

江殿造書局では元候来これが象院【羅索】話でお週出のため滑歌漁 本者来省々鰮加工工場建設準備を 形に多大の期待が持たれてゐるが

**東京教育・支持に入して)。 一般に多大の即巻が掛たれてあるが、如果を訪問し陳情經過を設造する から照真にかけて既に左の、れが唯一の縦和鉄として下事の態、陳徳した一行は十五日道際に竹内、水産腕解織から街海州にだける壁、六日午後一時から郡跡跡部で聞き越常があった。 一般に多大の即巻が掛たれてあるが、如果を訪問し陳情經過を設造する。 本は本府に、産戦臓器長、小棘髄粉主催その他、「量温」都数常熱酸再資をよる十取る故様で、** と同時に個々懇談したが問題が丁 針であり目下地狀哲別の方策につ 津に入港、船長武富技師は採出水

る女學校建設に對する自民 【實學】大會學理設の第一步であ

れば十四日早朝城建の神合で総元」よことである。これが今年北郷近

となり際川豊山南郡民の死活間となり際川豊山南郡民の死活間として経大の知符をかけ、通機関として経大の知符をかけ、の変交沿線は固より遠く見地への変

時期となったところに海の強化が

整架署定山縣邦補 梅津命城津小學校動初

. 雌盐智通導权訓導

(倒 定) 海での鰮初源であるが去年に比べ

は國家質源の開設、交通の

埠頭作業料

委任實現と同時に

低下をはかる意向

【清津】水産試験基への報告によ、網に百六十尾の題がからつたとい 城津沖で百六十尾

鱒の流綱にかゝる

氏は十三日夕料亭梅の家に西丁【雌津】新任孫郎商工會長祖瀬 柳瀬氏就任披露

咸北辭令(點)



主効

第十五日は観光の成北テー賞日で 回を買いぬして総々閲覧、二等は 高山市内八橋スミエ獲特設備とし グ・櫛… |人容、大川石風観、海苔、パイ めー説、ツルチュク、蘇提補濫地 連門即都に強のホームスパ 等を締めて正に金五十

城、長端、焼州三番買に剥する整官鮮語試験 【開婚】

婦人病の第一の

けられるやうな感じ

入受けの風北デー 坡州林業打合會 ▲本宮▲龍州寺▲定和園

記者圏の釣競技

大にルース魚の郷は御意ならん。 と共に水中に在るが如く磯部すると共に水中に在るが如く磯部すると共に水中に在るが如く磯部すると共に水中に在るが如く磯部すると共に水中に在るが如く磯部すると、

マこしけが澤山下リる 7月細が不順になる 日安になるものは

マ腰痛、 肩疑、腰冷等であります ▼下腹壁感(下腹が脚つたり押しつ)

威權の藥

悩まされる婦人病

赤同様に此の時期に活躍を始めるのです。 熊郭は海嘯機能に入ります、炎づて、蘇駐本の野立つ四五月から御夏になると織ての

春から初夏にかけて

鰛加工々場大弱り

待たれる第二期工事の完成

数とみられてゐる が至うぼで天焔喧噪に花が咲いた しく、全く生活活による駅世自

設生変の修學旅行、首節の

長湍教育會

脚を襲ると胸壁に目倒に増加する中間から上昇した派遣は一般の行 増加し、露頭三句を残して既に四一り、柳慶霞事務當局では今月上の から恩まれた天饒で敗然入場者を一て入場者増加にピッチをあげてを 日前産業人博覧館ではこの月初め「全国的資合等による来馬番により日前産業人博覧館ではこの月初め」全国的資合等による来馬番により 平均から上昇した瀬道は一般の行してある、わが履駐離は瀟湘徹、工作画の人間溜を見、特にこの月一度だの収入をみたといふ郷況を転

台灣新之上由仁外地特設的上行號 の色彩を放ち際にホームス・バン 制與産業舞踊に大きい役を通って 言語した朝鮮資源が多大の理解と

坂下正男店といま者に架さんが、 一年四十分、逐事から見物に深た。 本土ショール四人、四等解釈解大・中国十分、逐事から見物に深た。 本土ショール四人、四等解釈解大

所ある中職場で発起の根本的競技を行づてでとなって淋しい場面を送ることのない様にはればならなくなります。一生病域でや粧 て置くと病気はグンノへ地震して、あわて肝心です。これを妨息的疾患でいく加減に 所う云と時は番早く房屋の出影を抱くこと

□等校坂京日▲四雲石田爾丁▲一等八谷北時▲二等田上朝新▲

・國の商品等を地き苦て、早一かに掲解まで出入が絶えなかつた 原興署的撃會 [成興]

しいと思ひます。

具體的運動に入る

介数泉を器げてゐたことは退報

歩七四射撃場で変

酸するに於ては今秋離期に操棄を 月上。時間健される全
節知事酸脂に このまゝ般地範末解決の状態を持、善魔の方法を練つてみるが結局大 進めてある清津府内の有力版では「塩進田であるだけに當局でも観察

曾寧の高女誘致

五學議を調査委員にあげ

産前産後深腫鶏虫

本舗

支店

津村順天堂

V

Donna

製

慢性呼吸器病患者をはじめ

衰へて、その補ひ-榮養-が身につかねためです。

健康者に比べて体蛋白の消耗が甚だしいのと、胃腸機能が 慢性胃腸病患者、手術後患者などが衰弱に陥るのは、

MI

VII.

双

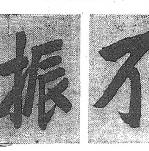
11



雕

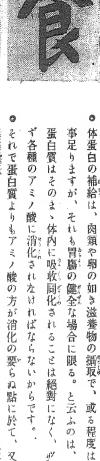
酸綜合强











● それで蛋白質よりもアミノ酸の方が消化の要らぬ點に於て、又 ず各種のアミノ酸に消化されなければならないからです。. が高いわけで、ポリタミン製出の目的も茲にあり、 食慾増進その他特殊の生理的作用を有する点に於て、その効率

ゐる所以も、實に近代榮養學理に適つたアミノ酸綜合劑であるからです。 内科・産婦人科・小兒科・外科等各科多數の醫學博士の處方推變を得て

優れた獨自の作用他の榮養劑に比べて 2・組織細胞を賦活して、新陳代謝をよくし、抗病治癒力を増進します。 從つて微量のアミノ酸を含むものや、原料そのまゝの粗雑な未消化性樂養 等各種の有要アミノ酸を豊富に含んでゐます。 劑とは全然本質を異にしたもので、次の如き獨自の作用を發揮します。 したもので、血液素、筋肉素、發育素、食慾素、活力素、ホルモン素 消化が要らぬから、胃腸の弱い消化不良の人にも榮養價値が大です。 原料さし、胃腸消化さ同じやうに酵素を以て消化

胃臨消化液の分泌を促し、食慾をすゝめ、且つ胃脇を丈夫にします。

ポリタミンは極めて榮養價に高む動物性蛋白を

適 應 病中病後で衰弱した人、 結核性体質の人

易い人、病身の人、腺病質の子供等 人、ホルモン不足に基~虚弱者、疲 食慾のない人、産前産後、呼吸器の 肉や玉子を食べても榮養不良の人、 弱い 胃弱

甘美味の液剤

中瓶(二圓五〇銭) 小瓶 二圓五五 大瓶 (四圓五〇銭) 名地薬店に販



兵長田武辯

町修二區東市阪大

店 商 衛 兵 新 西 小 益 町本市京東 店理代東關 社會式株藥製五大 五上鄉前數大 元 造 製

%--\$<del>48</del>(0)

常子「肺結核の養生法」無代送呈

この死決たれ仆に伐討

**兩禹・崔の署潼碧** 

だ匿の上では八月の中旬だが、も

普遍の野原衛洲間は丈なす高粱

いたつてみる。そしてこの繁茂し

度要を企圖し、その機を現つてあ 鮮内鷲伽の間脳に楽じて一般鮮内 東邊が撃るる三百廿名の合流即敗 が制能一帯に緊虐の限りを強しい た高粱畑の向ふから馬服の頭目占

との耐報が踊りに駆はり、國境

突如丧等は「日本人米れり」と総

國人容極者に出慮った、同脳重は

受けて加達器だ、思み重なる開設

世、萬の南巡査は既に島に敗職を

お同士の一騎打を調じ、舞鼓の黄 ムとなり、来の廿三日再び強級コ

既は組二組を削し、資品が組と気

和完、磯の後衛陣は座質にコート を守つて商銀軍の追随を退けて三

トで墨行・本府軍は離野御堂・

職したが自没のためドロン・ゲー

殿を承けた鈴木、元祖だけが微戦

の第一位に馬を進めた、懲囚罪は一本版園面盤職は同五時から鮮魚コ

平府軍は樂々と三勝者へ

が黄、浅野組の質力から見て七分

の膀珠は勘算にあると見られる

り込んで行つた、当二無二の突動

丈能の高粱畑の間道を急ぐ耐巡査

脚上文献道を全てた

花が辿り叫喚が置いた、だが、

品 - 元録 大朴

理——四

1個四十二 | |

皮その世紀常地方の経産物ばかりまれる、田品物はサンゴ、水牛、蛇

漁船の遭難 脛黄列島沖で

依歸緩靡鍋

東京大相撲

五日日

島神会東部自二十六度五分北緯 熊弟五日之出丸(百四十六トン) 【東京電話】東海巡洋漁業質小門

は、十八日午前一時三十分碗麦卯

危い橋桁をとりか

資の領化だ、高速館の中に敷削が

一種が増え、地名の大国語の解析は東大な危険に直面しい。

物語り(四八)

(年収計四萬即以上) までは一人

鍵であるが、現在の原城には

「東京電話」内閣質職局では十九一までに分れてあるに拘らず、

館中であった県洋観光連絡連鞭日 ようと、七日から二日間栗京で扇 動戦して原洋観光ルートを制定しつけるため飛行機・汽船・汽船を

ち、観光収入が重要収入となつで 説を求め質がすることになった。 機質級に提出し加盟各國の正式水 明年末印度で開催される第一回顧

この計画は日本の質器外収入のう

光質融及び第一回東洋観光連路運

なつてるる。加してこのうちには とになったもので、全部一割引と

遂にド

ロンゲー

賞励局でけるから實施・

なく、協綱と云へば十八等(年) 人、東一銀行の領取関大権氏が

する大動位無化章以下各種髄章の一たゝめ、今回各助寺、功齢的に天

々の色彩と構成を異にした略級を 動料を現すについての統一が飲け 路続は四階級しかなく、また高級

能来の路機制式では動量が一等か

リナレの流れを越えて、顕紫の

成九子三百二十一 圖四十三聲、朝 福附加雅を合はせて内地人なら は居住者とみなして滞在期間中の

四等級に分つて課税することに

**最低額の**百計等(年収三)度域、平断、重義州、南山及河池収上工五面収益)からである - 州 2 ヨコー (こと)

航空郵便激增

四十餘機關を連絡する東洋觀光券

明年印度の世界會議へ提出

ースは脳角線を除さ

鐵道局の

通信競技會

▲层城——榆城▲京城—金剛山  谷勳章各階級の

略綬章を制定

「年から潜在日敷三ヶ月以上の都

十一等(年収)高圏以上)迄はま 八等(年松十三萬面以上)から六 ばらで、百人以上は七十大等(年

九十二、朝鮮人三萬二子三百八十

い、その中内地人は二萬九千三百 戸の中納税し降るものは六萬三千

五百七十四戸、その半敷に確たな てを締めて類点城府全世帯十三直

哪便物十一萬一千七百九十七迪、

死亡者として京城府社會際に引き

母許一切予明、西大門塔では行路、城海軍關係者と協議を進めてゐた

至るも何ら関係者の屋出もなく、

常氏、塾岳山の死體は十八日夜に

然勝選子が突然一、二六事件に仕

れたので、特に故人を思ぶため征

府廳に引渡す

死者の身元

触の徹功を思い日本海県職展監査。越では毎年この日を中心に東郷兀

/は毎年この日を中心に東郷兀

を配してるたが、今年はわが朝鮮

遂に判られ

主要使の普及を物語つてゐる。素明らしい激増振りを見せて

に取扱った航空頭便が立敗は進常

小母戦使物九百日一節で、顕著数一後し饅地弾することになった

一を思ふ無聴贈を聞くとになった。

が、艦友爾主催のもとに齋陰子爵

等(年収十四萬四以上)一名、廿

に一名、朝鮮人が一名、次が仕じ 等(年収十五萬圓以上)で内地人

即以上を三百回以上と定め、更に あるが、最低は従来の年收五百 書を建する、新建率によっと年収

歐部領を独冠、計員軍に長々告知

第頭だ、大鵬はずつと飛んで壮大

戸別税最低三百圓に引下げ

新税からみた收入

が城は金持が

筆頭は廿三萬圓が唯

すと、紅い日戦 るい風に挟を返 だ骨中をすかし 人混みを扱けて から洩る街角の 鑑ざしにはもう 見える、汗ばむ

御法度の爆薬使

取締が嚴重になる程巧妙に出役する

夫) に何ね飛ばされ、顔面その他 城行一〇四號別導(運物手行重利

阿部松永家舊藏

京城府岡崎町七

愛·拉·橋·

追圖骨董展覽

廿一日に

近(京城起廊二十三粁)の総路を

日午後六時頃京養銀一山縣的

けふの試合

婦産

入院隨意

刎ね飛ばさる

危い線路歩き

温陽部中面日石里率二國さん(\*\*)

が通行中、折から際逝し來つた京

して二仲、五十七人の増加を示し、警院局ではさらに強能局と協力、十一仲、百十八名で、期年に比較 首真、鑑言大百九十九閻であるが 於ける螺越物與業威嚇數は廿二件(富な利益を贈み、浩良な漁業者を宜によれば、昭和十年中の金針に に ボラ・チヌ、驟の扉を狙ひ、不 漁撈方法も巧妙となり、優秀な漁一めることになった。 山武裁判の結果監証を受けたもの一されたダイナマイトは二萬八千六 ふる、これは取締當局の機器が 一漁業施設の運前から積極的に爆撃

|通常郵便物十二萬||干四百二通

鮑便物は引受三割五分、到着五 が、これを削年に比較すると地

ンコンゼフア

困らしてゐる、濫局から昨年受収 警務、殖産兩局が協力一掃す といふ趣向である

の傾向を示したもので、彼等は主 九階であるが

海軍記念日に 政際膨子を偲ぶ 八日フオード南北の新郷野地リンで一一〇馬力、流線型でボデイは 京城若草町棉本自動東商店では十、リンコンゼファーはV壁十二部番 コンゼファーの高級単数設をした 街の人氣者 新車デビユー

全部開墾の国際路接、摩却で重心

満門た類型で 終まで長間に掛けて樂しんだ院費で思るからに 行ふ、出品中には、故阿部轄が除

ノーステッツ

下見は午削九時より午後二時まで

日の羽日本此来西路で豊

黄桃

TILOS 內壁包

様が敗れた人

ーッサラグ

證柑

汗ばむこの頃

お出かけ前にはゼヒー滴

西洋梨

ば い 書

格塞樂 別八円 特六円

手に入れた果原の金森 た書画作者取中、朝鮮 前京産道長官が登録し

と因縁深きものを多数



してデビュー

餘點あり、その他出品中には常商 正宗御筆の珍品等の外棚卸貨施吉

MONOYA FILADO

金

が押かけて

高語

松永明新を思ふに絶好

東郷 元師・ 乃木大將の新古書師

店はおり

ハンカチに ネクタイに お帽子に 御矜に

與撥

為

古医、慰石、直恩、大概、

条屋には背像を貼げて遊師を側ぶ1 しい記念為真などを除べ、壁上の ラリーで、故歌勝子の愛元品、珍

万時の記念日

請求したことから喧響となり、歴史る一日加國典でのが中國代金を

海南部場中內取政府金幣出

殿られて死ぬ

西里

は金のため散々戦打され、十七日

に能する加労額を表彰すること、「富主色を治療資本事態総額額を正った。」と、「富主色を治療を開い、電話受達手工」名は、一般ではこの記念日を接触に「用」、日は認道事が用頭、電話製造・出版・十六級日青に「明の 翻窓翻巻1に、イビスト四名、電話交達手工」名 はり、過艘各道知事に耐し助野番 | 銀行甘七、八兩日は分科館を明く 八月十日は「時の記念日一と」 廿五日全部改信技術傑廿四名、 本府で功勞者を表彰

氏名を液纏め中であつたが、この一が主なる談響は

ほど出揃ったので目下智能監修中一

等の照済ルートがあげられてある「総道局では運動、工務関票上能でしまれる密

**台灣の特産品を** 

三中井で即賣會 はじめての半島進出

日から三十一日まで三中井ギヤラ 台両基隆特隆品即費爾は來る廿七 リーで開催されるが、台湾の朝鮮 

六日目取組

一 成養 

涡室完備 京城沿岸山町一丁 意思 恩

ダ小兒內科病院

扇男 歳及 新乳 射性 〈磐 歳 入 循ル グ女 強 逆が 刷 パ 州 型川 昇山 海瀬 川川 山石 川洲 甲山

地清 土田 大大 金玉 田三 優秀 水 州羽 川川 山麓 浪潮 震海 花山 岩川

うこもなるを更と でえれ 思書を表れ のため國のため

墨帝朝龍節山崎帝回常名言之をたからず二月三月五月在とお近を桃池す一四五月本路接を桃池す 獨、佛、五ケ國特許

が表した。 通信科、密成科、特典修了者全國無 、開業届及必要關係書類完備、 等別のでは、 、開業局及必要關係書類完備、 等別のでは、 、関業局及必要関係書類完備、 等別のでは、 、 のでは、 のでは、

京新土佐城三八四 京 法 學

三院

きりがちの天気

・交流学(地加四年) ・交流学(地加四年) ・対策学(地加四年) ・大流学(地加四年) ・大流学(地加西年) ・大流学(地西年) ・大元学(地西年) ・大元学(田田) ・大元学(田田)

朝鮮説明協會 成本三三八三番 明本公司等は住京城古事町首州小 (永築町共青無逆尊近城人) (永築町共青無逆尊近城人)

(計物産機) 塩井醫院 新聞 (受 単常・最 単層 (な )

日本小兒科學會 諸權威

御推獎

宮脇農學博士 御指導

為明書連結 京城間大門通二丁日 新 井 類 勝

※ 京日案内

貨

全日 立番は大物強なますため他はと郷比較を願ひますため他はと郷比較を願ひますため他は一般を願ひます。

京が 東 外交回及他万将的心 京版一品不必須和品・祖東府港市 京版一品不必須和品・祖東府港市 市田市(一月日・一上音権所 日本タイプライー會出

## 「さあ……でもあの子は勝氣な性」姿を、病能へ入つて來る人達は、

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

一月に入つて間もなく、浩介は 『なあに……。四年から受けるん | 過ぎた。織い砂利道の坂を下りて

チロー〜無温虚な目で眺めて通り

同三時(五分・土焔の時間(朝鮮) 加る紙(一) 上田 常一 師る紙(一) 上田 常一同二時 趣味滞崖 領跡の干潮に同零時四〇分 ニュース

と云ふやうなものは、雁子の何處 に採み扱かれて來た不幸ない にしながら、注意深い目を確さな 指で潤みかけた目頭を押へた。 て獅子は、急に傾向いて、片方の 落ちたとしたつて! |だから大威張りですよ----優りに | しまうと、目の前に、島慶花の黒

らと云いかけ

「推物館へ入つてみませらか?」子は、浩介の職を仰いで、 々とした木立が選がつてみた。脈

同四時 ニュース (筑象通歌・後) 同三時四〇分 (東) 領象通歌・ 後 徳 植

三日前、富枝夫人からの電話 さまと三人で東京へ移る約果だつ 心算で、二人共うかつたら、お母

『私も、今年は津田英學塾へ入る

活介は、雁子の怪我は照相な

ものではなく、一生の運命を左右 るやうなものなのだ、と聞いて

のたので、雛子自身その事を承知して帯も、きつと菩薩してゐる

十九日番組 火曜日

同七時 ニュース・天氣見込・職

優ひど、所がありまして一度側が

同六時三〇分(東)基確佛温祉年前六時(東)ラヂオ糖操 今日の天氣見込 放送 丸直順太郎 常に5中橋 (大) 原語――

同九時 (東) 衛生メモ 同九時一五分 | 氣象通報・料現献| 同九時一〇分 | 氣象通報(笹山) 同七時一分(東)納の修済 加藤、喘草

二流争弱血

個は八一馬迄の局面 鈴木氏一回磨二人目 先▲四段 ▲松下氏

步

◇所要時間

八贵 金易二郎

トル暴げて、私のことなぞ思一野潜標がある、迚事顕著に

に張つて歴史なメロディでうたはに張つて歴史なメロディでうたは

星文にいつたことも、衆文がお後、これに富の事ぢやない、お佐が一さない。

れ即数せられ、所くしてそれが後、るこれ等の実態観察を着禁し船曹などを諸理様として能。群・路立と「歴史以と云ふ覚地とり順鮮におけ

初夏の雨上り。と云ふりやかな心地になる

0000

o mano

の譲延、都市人口の柴中・無産業

特に自由競争の高度化

意味に於て私は光づ家

ねやうではどつも遺苦境は免ねよ烈しい原治を避けなければな

にて鈴木氏の脚 ※下四度の八一龍は離節であつ たらら、それでも五分間――、泉 後の等力を費してある。如同にし でも手負けとなって必るので変け 出すこと等へた。と云つてゐる が、利車を響て販生に必要がから、 つて乱は相響面目しいやすないか。

のがあつた。

動かな考察すれば無難なところ。平手戦は孰れにしても實力經驗を巧翁木四級に對する松下四級 

學校・學年・姓名を明記のこと 一向小中女學生の方は府縣耜作品の選に明記のこと 一向小中女學生の方は府縣耜作品の選に明記のこと 一向小中女學生の方は府縣耜存品の選子の選材料、

顧問及審查員

東京美術學校長帝國美術院與問

山和和正和田田本 形 三英

先先先先先先先

生生生生生生生

名士二

名十 fi.

名自二

有 T

船

名 十宛(秀龍) 圓十三 選特

" 圖十二 等一 " 圓 十 等二 " 圓 五 等三

牌

賞 作佳

社會武林集製示森

森水中ヤラメル類・森水チョコレート類包装材料

森承製菓株式會社界市芝區田町

(麦部)

圓七 等一

圖五 等二

″ 圖三 等三

品用學 作佳

生學女中小

名十二 宛(旁龍) 圖十 選特

名十七

名百三

名百八

名手市為二

狱

L

賞

밁

○ 接時間各儿時間

「好し、戸外へ出てみませらか?」 少しづく歩く確否をしませ

コップの中の何時か愛子と來た時 た雷楽を、浩介は、ゴクリと音 して、遣り場に迷つた視線を、

如何ですか?と口の先迄出から

は、浩介に敗まって云った。

わしたことのない、他の十九の少 を高られるやうな苦痛には、出く

てしまつたらしい。現在の姿を一だらうと思いますのこ

こ、學校へ行かれませんもの一、當代一点の舉題體立の大脈は語 一、別等以上の成果を割めて指導の一登記網が持つて某た熱葉反に翻。直直を振りまの成果を割めて指導の一で、維子は緩り歩き出した。 のであります

でえく。一高を受ける。んだつて騒い



がこひしくなつて参りました 時候も指々器くなつで海邊 放 後午 放送 朝鮮。干瀉四頭。蟹 同一〇時三〇分(東)家庭 午**前六時三〇分**(東)英語講座 二十日さ、物 Ł 田 常 秋岡 大田 一大田 一大田 柳田 阿男村 景 一角六時(東)お話物の始り(八)鼎 宮 り中書

谷公會堂より中部新交響業権

天智天皇

人化の政策を賦行されるまでの御

大阪國史閣研究會 日本の國には、

一及寒樹振(保名)清元極壽之 一段寒樹振(保名)清元 深之

同七時三〇分(東)縣福

の御事職は日本の歴史上、神武天

(明行公司号より中國)

コチばつかりがやつ さん、仲のアジさんグデをこぼし

花野安太郎ほか

年は世勢の海へとよ

開産子・ルーン とはサワラば下ってがんせ、蛙

黿

上げることが出来るでありませう 「君に二城無く、臣に二頭無き」

(イ)手婦題限

明天皇の三頭延にお仕へ遊ばされ

として、息極天皇、李憲天皇、齊

中大兄息子さまが、皇太子さま

取って建魚場へ上り、間部定めてほ 住んに縁にも立たと、是を結縁にわたしアイ ほんに縁に言うあるがが吹きまり これは変んだとさ魚、サヤが音を得 月あいの山には、窓に大蛙頭く三 味様は子ヌさんペラさんあるらめ

一般に分離し壁間を要する人々を取

|時(東) 世の時間

みたいと思ひます。 イヴアレとアン・ヴォーザークの腰やかなレヴューの葬墓面でルデに出かけます…… あの河越えて左線なら、僕は旅行

したことは言ふまでもないが他面 八額の幸福、人間生活の向上を踏

演者アイリン・メンはジーケフ



定個十五銭 標草化粧品

社會前利を禍いし洵に社會的歌歌 戦的に且合理的に意義あらしめん 無したるのみならず家庭を開頭し り近時の鍵生ではないが近世産業 これ。等の社會的微菌は同じ、其の局理の発明に適むることが像

であるが、これ等の活動をして組

790

3つよならアナベル

٥ M 騃

演談 という見意太子協に扱いとによつてお除かせしますとうと見意太子協に扱いとによつてお除かせします 朝 が作品が作り、一般の社會相 鮮

それに伴つて疲多の心勢生活の激 の避及、心臓の進化が、深く心臓に凝調するに至ったので であつたかは云ふを俟たな 姚剛の楽を呈した反面に、これ等 ある。近世文明が一面に於て百花

ヤン会か喰 ワン公か

南部の近海は、樹汐干嶺の差の大 にご保じの如く頻節の西部および 行つて食用に微取りを始めるので いて二回に亘つて面白くお話して あります。私はこれ等のことに就 ありますが、これが交質に出観で

> やさしい思徳太子様のことは、 い程子標が敷添くお出ましたなり

買く、天皇の立派な御人格-

い掘い御意志、などを、お話と眺

は鰻臘の着物を着て、海風の帯を さそい合せてお沙婆語りをしよう 「一个度此の度能室界に、魚の敷を

朝鮮玉船定期出い

ちやんと締め、太刀魚なんぞを落 で高子に膨張ホウボウのつれを跳し差し、アカエイの概念で若い蝦

成立 東 京 京 韓原 行

五月十六日東京十六日

との話。さては父祖石廟の装取に

統一に導かれた大保業・それらを

が日本國の政治組織、此曾組織を

甲上げる忠臣就正治め、多くの忠

や知れたら須唇の能

(島迪ふ干島に文ことづけて) 若し

へはばいばいころ

ドンドン

三升権さげて嫁のか

ホイセ

开機さげて娘の住所へ録迎きに

まる。止めて交正まらの色の道

へ行に置はア サア

サア品よく止

へ関石一寸出て舞手の海よ(洋路 へ観網引く乙女の貝に神のかもめ

題ましい日本武章様、お

天御天皇 大阪國史劇研究館

晝 零時五分

書と用難をも頭前し他的的失思を 思たるかの如く、東は腫脹し既は、策はこれ等の社館医患な治療し要 化の途上において治と覚れ難い疾 **心臓し、たゞに人たるの生活を剝 除せんとするものに外ならないの** 

寫室より中継ずるもので、共にア本を大阪ビル、ユナイテッドの試 ローナー・ナショナルの映画!

社関事業なり、社関の

備を見れば

○博多行 ○對島、完解、 「「中」、 第五百日午前十時 「中」、 第五百日午前十時 「中」、 第五百日午前十時 「中」、 第五百日午前十時 「中」、 第五百日午前十一 「中」、 第五百日午前十一

釜山出物 九州郵船株式會社

科通量 荘中一日生間時 仏殿 海衛 "文帝、大連行 威海衛"、文帝、大連行 鎮南市 、大連、大津行 鎮南市 、大連、大津行 鎮南市 、大連、大津行 銀南市 、大連、大津行 銀南部 、大連、大津行 は 一世 では 一世 では は しゅう かん かん いっぱい に かん かん いっぱい に いっぱ 代理は野口商會 代理店

威海衛、芝罘、大連行